資本主義は、一朝にして奇蹟的に倒る、ものに非ず、今日、資本主義の矛盾、罪悪が全民衆に暴露されつゝあるに拘らず、何等根本的改革が行はれざるのみならず却ってその搾取政策が仮借なく遂行せられつゝある。而も共産主義及其他一派の労働組合が徒に焦慮、尖鋭化し、口舌に於て急進化するも実力之に伴はず、資本主義の反動的攻勢に当面するや、風に吹かる、籾殻の如くに飛散しつゝあるを見る。之れ彼等が健実なる労働組合主義を軽視し、深く労働者の実生活の中に、組合の諸機能を築かざるに依るものである。

惟ふに、我國労働組合は、後進國の特殊事情に依り、著しく思想団体、政治団体的色彩を濃厚にしたるも、由来労働組合は、理論より生れず、又單なる政治的手段にも非ず、労働者の惨苦なる日常生活を改善向上せしめ、やがて之を解放に導かんとする自主的相互組織である。故に、労働組合はその日常協同の訓練に依り、労働者の識見、技術、徳性の向上を期する教育的任務、強固なる團結の威力に依り資本主義の搾取に対する闘争的任務、相互保険制度に基く共済的任務等の諸機能を融合統一したる経済団体として、之を発達せしめねばならぬ。斯くして初めて労働組合は労働者の生活の中に基礎を有する大城塞たり得るのである。

我日本労働總同盟は、多年健実なる労働組合主義を主張し来ったが、今後はこれを一層具体化し更に徹底せしむる為に、熱心なる努力を傾注し進んで日本労働運動を磐石の基礎の上に建設しなければならぬ。

現下、世界の大勢を概観するに、國に依って程度に濃淡あり、その過程に一進一退あるも、大局に於て経済を統制とする新秩序に向って進みつゝあり、之れを観れば社会主義的統制経済の過程に労働組合は益々重要なる地位を占めつゝある。~~は明かなる事実である~~

顧て、今や、我國資本主義は唯一の救命策として、インフレーション政策を強行し、物價騰貴は阻止し難き大勢となった。かくて労働階級は更に搾取を強化され、労働組合運動の重要性は愈々加はりつゝある。

我總同盟は日本労働運動の陣頭に立って之を指導し積極的に資本攻勢を撃破し、以って歴史的使命の遂行に邁進し全労働階級の信頼に應へんとするものである

右宣言す

昭和七年十一月五日

日本労働總同盟

第二十一回大會